

高精細映像伝送による 災害時の迅速な情報共有・意思決定の実現

実施体制

(下線：代表機関)

(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西、愛媛県、大洲市、愛媛大学、西日本電信電話(株)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー(株)、シャープ(株)、電気興業(株)、(株)ガイナス、SAPジャパン(株)、(一社)全国地域情報化推進協会

実施地域

愛媛県大洲市
(肱川河川敷)

実証概要

自治体の災害対応業務においては、**被害情報収集に時間を要しかつデータ品質・精度が低い**ことや、情報収集に必要な**通信インフラ被災時の迅速な通信体制確立**という課題が存在。

- 可搬型のローカル5G環境を構築し、ドローンを活用した高精細映像のリアルタイム伝送による**被害概況の迅速な確認**や、取得データの3Dモデル解析・360°ビュー化による**被害概況の高度な可視化**の実証を実施。
- 災害対応業務の高度化を通じ、各関係機関の**状況認識の統一**及び**迅速かつ的確な意思決定**を実現。

技術実証

- 郊外地において、**住宅の分布状況による影響**を考慮した電波伝搬モデルの精緻化や、河川や道路が位置する環境における**中継器**によるエリア構築を実施。
- 周波数：4.8-4.9GHz帯（100MHz） 構成：SA方式 利用環境：屋外

